

御卒業おめでとうございます！！

3年生の皆さんへ 卒業を祝う演奏・体育館ステージバックについての説明

このたびは、ご卒業おめでとうございます。卒業を迎える皆さんは、それぞれ様々な感慨を抱きながら卒業式に臨まれることと思います。

音楽部、吹奏楽部、美術部、書道部では、卒業式で皆さんをお送りするにあたり、積み重ねてきた各部の伝統や先輩たちの仕事を引き継ぎ、そして何よりも新たな出発を迎える皆さんの門出を心から祝福するために、演奏する曲の練習や、体育館ステージバックの作品制作に努めてきました。そして、今年も私たちが厳粛な中に多くの人々の思いや願い、不安や期待に包まれながらも明日を夢見ている皆さんの卒業式の一端を担うことが出来ることを大変光栄に思っています。

美術部、書道部が担当するステージバックの作品制作は、本校にまだ農業課程もあった昭和43年（1968年）5月に体育館が竣工し、6月20日に竣工式に体育館を彩る横長のデザイン（力強く躍動する人物の形象）を制作したのが始まりでした。それが好評で、以後、毎年の卒業式、入学式に、先輩や新入生に送る積極的な願いや思い、励ましを込めた応援歌ともいべきデザインや書を、美術部と書道部が手がけてきました。その歴史は51年にもなります。



作品は、厳粛な会場に掲げられるということ踏まえ、美術部員全員がそれぞれの思いを込めて一人一案のデザインを考えます。そしてその中から話し合いで1点を選び、その年のデザインと配色をきめ制作します。書も同様に、これから巣立つ先輩たち、そして新たに入学してくる後輩たちを応援するにふさわしい言葉を決め、超太筆で1.7×3.5mの紙面に挑みます。筆遣い（角度、筆圧、速度）、練度による線質、文字の組み立て、分間布白（白と黒、余白）にこだわることで、作品の力強さ、奥深さを狙い、紙面上で体全体を使って太筆を運びます。

作品や演奏を通して私たちのメッセージが皆さんに届き、卒業式がより意義深いもの、感慨深いものになることを期待してやみません。私たちは八日市高校の良き伝統として定着したこれらの仕事を誇りに思い、喜びを持って今後も引き継ぎたいと考えています。

最後に、今年度のステージ作品のテーマを紹介して結びとします。

◎美術作品 「昇龍」 美術部共同作品

急流を登りきった鯉は天に辿り着くと龍になると言われています。左右の青海波紋様は平安な暮らしを意味します。蓮は泥水であればあるほど大きな花を咲かせます。卒業生の皆さんが、困難に打ち勝ち、ご活躍されますようにという願いを込めました。新たな世界への一歩を後押しするものとなるよう、部員一同で心を込めて描きました。

ご卒業おめでとうございます。

◎書道作品 「勇猛」 書道部共同作品

今年は猪年ということで、猪のように勇ましく突き進んでいきたいという願いをこめ「勇猛」という字を選びました。部員全員で協力して1画ずつ筆を繋ぎながら、勇ましさや強さが表現できるよう力強く書きました。卒業生の皆さんが、夢という目的地へ向かって様々な困難を乗り越え、力強く突き進んでいかれることを願って書き上げました。部員一同より、先輩方のご活躍をお祈りしています。

